

兵庫県のり漁場環境情報 (東播海域 14 号)

2024年 2月15日発行
兵庫のり研究所

海域全般に、依然として小型珪藻のスケルトネマ、キートセロス等と大型珪藻のユーカンピアが確認されています。海域東部では、小型珪藻の発生量は減少していました。大阪湾全域で栄養塩が大きく減少していることもあり、窒素は、明石海峡部で1 $\mu\text{g at/L}$ 台、鋼管漁場～別府漁場地先で概ね2～4 $\mu\text{g at/L}$ 台、その他の海域では、陸水等の影響が見られる地点を除き、概ね1 $\mu\text{g at/L}$ 以下の値となっています。

(水温) 漁場内平均10.1 $^{\circ}\text{C}$ (平年比、昨年比ともに1.0 $^{\circ}\text{C}$ 高い)。(塩分) 平均32.29psu。前回 (32.27) より0.02psu高い。

(珪藻、栄養塩ほか) 海域全般に、小型珪藻のスケルトネマ、キートセロス等は確認されるが、前回 (2/6) 調査と比較して、発生量は海域西部で横ばい、海域東部では減少していた。大型珪藻ユーカンピアは、海域西部で発生量が増加していた。各海域のユーカンピア発生量(海水1mlあたり)は、魚住漁場以東で0～3細胞(前回値：0～1細胞)、二見漁場以西で15～40細胞(前回値：2～15細胞)であった。

大阪湾において、スケルトネマの発生により栄養塩が減少していることもあり、今回調査では明石海峡部の栄養塩の値が大きく低下していた。伊保漁場では、陸水等の影響により、アンモニア態窒素の値がやや高くなっていた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	9.8	10.1	9.1	9.1
窒素	3.4	2.0	2.8	4.3
リン	0.45	0.33	0.34	0.45

(2/6)

(2/15)

西播地先

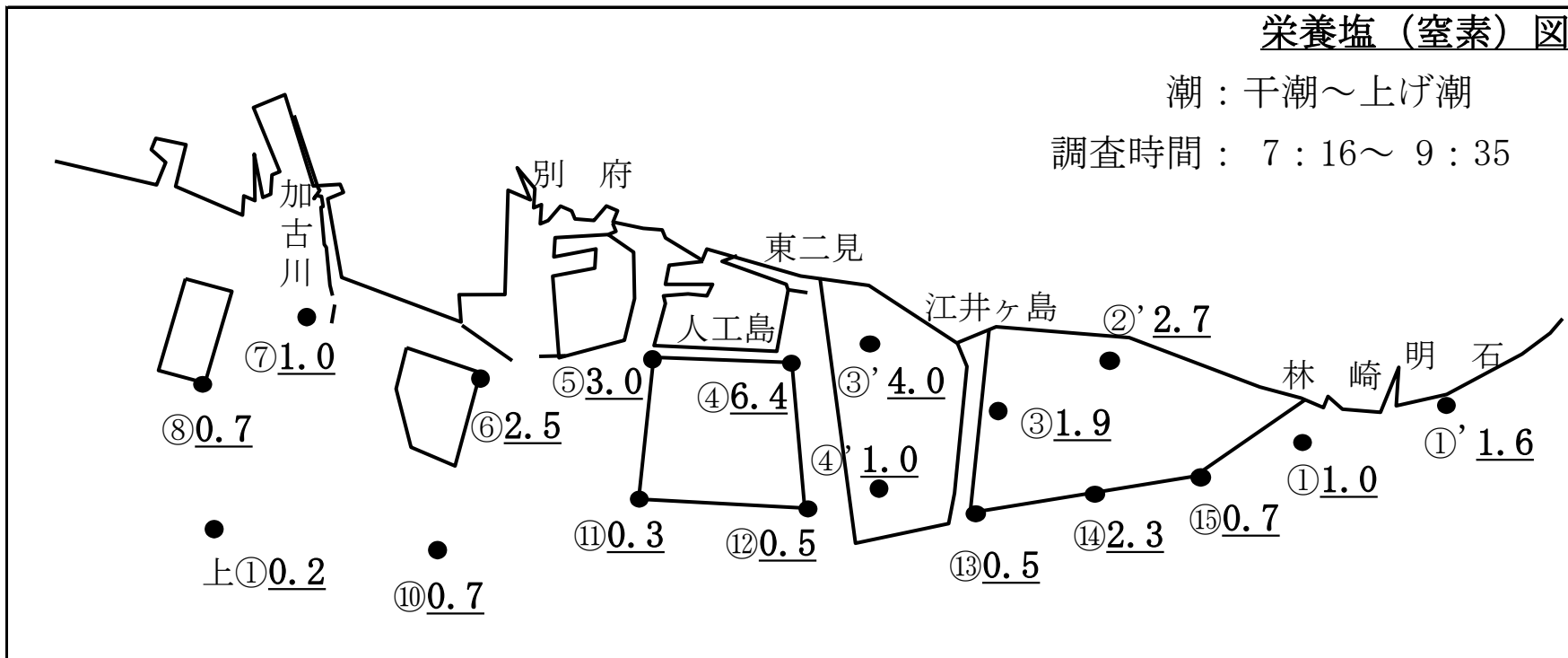
伊保 地	水温	10.2 $^{\circ}\text{C}$	伊保 沖	水温	10.1 $^{\circ}\text{C}$
	窒素	1.5		窒素	3.4
	リン	0.22		リン	0.24
白浜 地	水温	10.5 $^{\circ}\text{C}$	白浜 沖	水温	10.6 $^{\circ}\text{C}$
	窒素	0.2		窒素	0.5
	リン	0.20		リン	0.20

2024年 2月15日調査

栄養塩 (窒素) 図

潮：干潮～上げ潮

調査時間：7:16～9:35



水温図

